



第3回 あなたが選ぶ

かごしま 景観大賞

投票ブース

景観を創る・景観を守る

投票受付中!

県内にある良好な景観を保全・創出するための活動をしている個人又は団体を表彰します。

投票方法

良好な景観の保全・創出に寄与していると思う活動に投票してください(1人1回まで、複数選択可)

※ フォトコンテストではありませんので、活動を評価し、ご投票ください。

投票期間

R5年11月9日(木) ▶ R5年12月12日(火)

投票場所

- ・展示会場
(鹿児島県庁1階, イオンモール鹿児島2階)
- ・インターネット
- ・県公式Instagram(「いいね!」で投票)



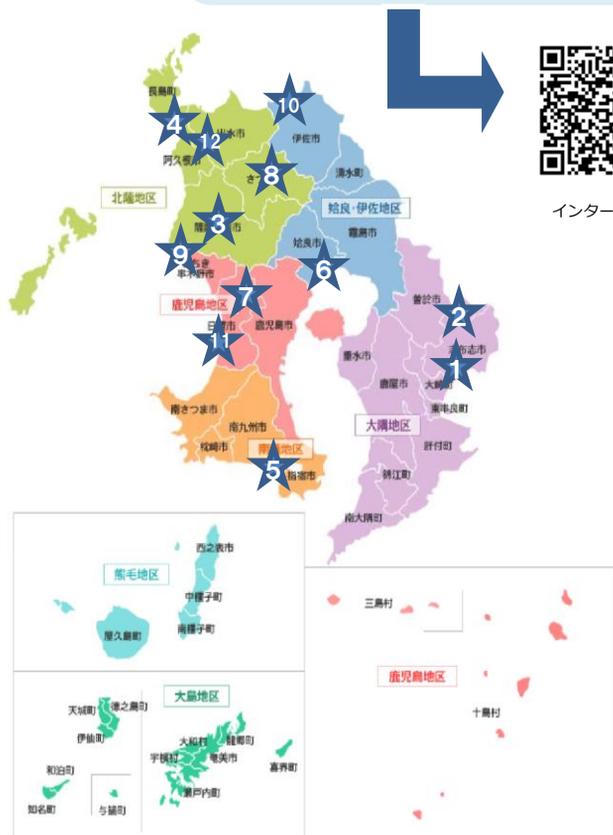
※今年度の募集は終了しました
(R5.6.1~R5.8.31)

特典

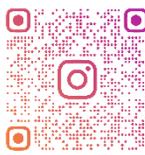
県特産品 (5千円相当)

抽選で投票者6名
にプレゼント!

※Instagramでの
投票は対象外です



インターネット



KAGOSHIMA_KEIKAN
Instagram

件名	活動者	所在地
1 蓬の郷親水公園	特定非営利法人志布志みどりのプロジェクト	志布志市
2 榎(あおき)神社	南之郷もりあげ隊	曾於市
3 武家屋敷群入来麓地区	入来花木会	薩摩川内市
4 脇本海岸	NPO法人脇本海岸ウミガメ・シロチドリ会	阿久根市
5 瀬平の景勝松	景勝地瀬平の磯部松を守る会	南九州市
6 国分中央5丁目の集合住宅	ケイエイツ株式会社 株式会社和久田幸佑建築設計事務所	霧島市
7 北山集落の盆の送り火「北山の火振り」	北山自治会北山の火振り保存会	日置市
8 永野鉄道記念館の桜並木	永野区公民館	さつま町
9 登山道のある岬・羽島崎	山根 史朗	いちき串木野市
10 田んぼのヒガンバナ	上田 篤	伊佐市
11 黒川どんげえ	伊作GOわげえ会	日置市
12 川平の巨石群	川平農村公園管理組合	出水市



第3回 あなたが選ぶかごしま景観大賞 投票対象

No. 1

蓬の郷 親水公園

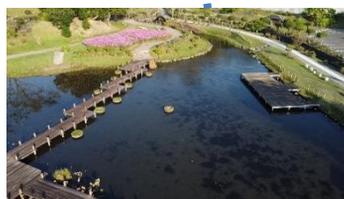
活動者：特定非営利法人
志布志みどりのプロジェクト
活動期間：平成28年～（指定管理）
所在地：志布志市

前管理団体から引き継いだ水車を、藻や海苔を除去しながら、大切に管理。今では、公園のシンボルに。

花が咲き誇り、賑わいあふれる公園を目指して

中央の広場季節の花を植栽
(写真はコスモス)

蓬の郷親水公園は、環境省の「名水100選」に選定された「普現堂湧水源」の周囲に整備された親水公園であり、梅雨の時期には、約1000本のあじさいが咲き誇り、来園者を楽しませている。公園のシンボルとなっている水車は、どこか懐かしい、昔ながらの農村の雰囲気を作り上げている。特定非営利法人志布志みどりのプロジェクトは、平成28年度から蓬の郷親水公園の指定管理者となり、公園の管理を行うほか、自主事業として、公園中央部にある広場に、年3回、季節の花（ひまわり、コスモス、パンジー等）を植栽し、水車の管理やダンスや音楽イベントを企画するなど、公園を拠点とした賑わい創出に貢献している。また、本来ならば剪定後に廃棄してしまうあじさいの苗を育て、約300本の苗木をイベントで訪れた来訪者へ無料配布を行い、来園者を喜ばせている。



活動者の声

外来種の藻が発生する等、管理の上での苦労もあるが、花を楽しみ訪れる方たちが回遊できる公園づくりを行っていききたい。

イベント開催で地域を盛り上げる

活動者：南之郷もりあげ隊
活動期間：平成30年～
所在地：曽於市

楳神社の周辺一帯は、古くから楳原（あおきがはら）と呼ばれ、神話の伝承地として伝えられている。

楳神社の老朽化が進み、修繕金が必要となったことから、ボランティア団体である「南之郷もりあげ隊」を結成し、修繕金募金を呼びかける活動を開始したのが活動のきっかけ。

地域の過疎化が進むなか、関係人口を増やすことが地域発展には欠かせないとの信念のもと、様々なイベントを開催し、地域内外の人を呼び込む活動を続けている。

年1回実施される「小戸池大掃除大作戦」では、南之郷もりあげ隊のほか、市外の参加者を含めて約50名程で池の水を抜き、人力で藻を除去する活動を行っているほか、イベント開催ごとに、境内周辺の草払いを行っている。

「小戸池」から湧き出る水は、安産のご利益があると言われている

「小戸池大掃除大作戦」
ここ数年は藻の除去に苦労



活動者の声

古い伝説の残る場所なので、多くの方に知ってもらいたい。地域の人口は減っているが、イベントを開催することで、関係人口の増加を図っていきたい。



No. 3

武家屋敷群 入来麓地区

800年の歴史を誇る入来麓の町並みを活かしたまちづくり

活動者：入来花水木会
活動期間：令和3年～
所在地：薩摩川内市

入来麓は薩摩藩麓の一つであり、平成15年12月、鹿児島県で3番目の国の重要伝統的建造物群保存地区（武家町）に選定された。

入来花水木会は、800年近くの古い歴史を誇る武家屋敷群入来麓地区の美観や景観の維持存続を目指し、先人たちが残した日本遺産の入来麓を守り文化を伝承しつつ、観光地として更に知名度を上げ、入来麓地区全体を活性化させるため、入来麓地区に残る数々の歴史的な文化遺産を広く世間に認知させる取り組みを推進することを目的として設立された。

御仮屋馬場のお堀とその周辺、山城への通路及び寿昌寺跡などの清掃を行ったほか、まち歩きイベントの開催や景観アドバイザー派遣制度を活用した観光や景観整備のあり方について勉強会を開催する等、地域の活性化に取り組んでいる。



玉石垣が武家屋敷独特の雰囲気を作り上げる

活動者の声

現在の活動を継続しながら、活動メンバーを広げるとともに、イベントに参加してくれる大学生の考え方を取り入れるなどして、入来麓地区の活性化を図っていききたい。

堀の清掃
へドロを放水で流し、綺麗に



入来小学校へ続く階段
継続して清掃されている



第3回 あなたが選ぶかごしま景観大賞 投票対象

No. 4 脇本海岸

活動者：NPO法人
脇本海岸ウミガメ・シロチドリ会
活動期間：令和3年～（法人としての活動）
所在地：阿久根市

約2,600mに広がる海岸を、
毎朝・毎夕歩いて回る



海岸の落書き
を落とす様子

ウミガメの上陸
自然景観を守る



ウミガメ・シロチドリを保護し、景観を護る

20年以上前から、脇本海岸近くに住む大川内氏（現理事長）が海岸の保護活動を行っていたところ、それに賛同する人々が集まり、法人化（NPO法人）して現在の組織となった。ウミガメとシロチドリなどの絶滅危惧種の保護と海岸の景観を護るため、約2,600mに及ぶ脇本海岸を、毎朝、毎夕、メンバーが交代で歩いて回り、ゴミの回収や何か異常が発生していないか確認している。絶滅危惧種に指定されているウミガメやシロチドリの産卵が行われていないかを確認するとともに、ウミガメの産卵場所を確保するため、重機で10日間かけて砂浜の宿根の撤去作業を行っている。堤防を遊歩道として歩けるよう、年4、5回は草刈等を実施、砂を払うなどの作業を行っている。また、昭和40年代に松くい虫の被害でなくなってしまった松林の再生を図るため、中学同窓生に呼びかけ、同窓生ごとの植樹をお願いしており、現在、15同窓生が植樹を行った。

活動者
の声

ウミガメとシロチドリなどの絶滅危惧種の保護と海岸の景観を護りながら、古き良き時代の「白砂青松」を取り戻す活動を通じて、多くの方に自然の大切さを知ってもらい、かつ自然景観を楽しんでもらいたい。

No. 5 瀬平の 景勝松

活動者：景勝地瀬平の磯部松を守る会
活動期間：平成30年～
所在地：南九州市

国道226号線沿いから望む
開聞岳と松のビュースポット

与謝野鉄幹・晶子夫妻が
訪れたこともある景勝の地



瀬平の景勝松を次世代に引き継ぐ

松くい虫による松の枯死などが問題となっており、「松のある景観を守り、次世代に受け継いでいきたい」という思いから、郡地区公民館前会長（中村氏）が、団体を設立。現在は、郡地区公民館を中心とする13自治会の自治会長で構成されている。

松の状態を団体から市に情報提供し、業者にカミキリムシ対策として薬剤の散布・注入をしてもらっている。最近では、地元住民も松の異常を気にかけており、市に情報提供をすることも。

お盆や正月に、景勝地である公園を訪れる人が増えるため、気持ちよく訪れてもらうために、守る会で呼びかけを行い、雑草・雑草の伐採活動を行っている。

また、海の日には、地域住民と市の職員で、瀬平公園の下に広がる瀬平海岸の清掃活動を行っている。

活動者
の声

地元住民は松の状態をすぐ把握することができる。南九州市と連携しながら、地元住民にできる活動が続けていきたい。この素晴らしい景色を見た人が、ここに住みたいと思えるよう努めていく。

薬剤散布
松の状態を日々気に掛けること
が、松を守ることに繋がる



No. 6 国分中央5丁目の 集合住宅

活動者：ケイエイツー株式会社
和久田幸佑建築設計事務所
建築：令和5年
所在地：霧島市

「昨日より好きになる街を」を使命に



照明に照らされた岩模様の壁が
夜のアイススポットに



5階建ての大きなボリュームが
周囲に馴染むよう力を注ぐ



白基調の外壁は、
鹿児島の大空を
映しこむ

ケイエイツー株式会社（建築会社）と和久田幸佑建築設計事務所は6年前から協働を開始し、「昨日より好きになる街を」を使命に、建築自体の景観にくわえ、そこで営まれる人々の生活にいてもより活き活きとさせる場所づくり・空間づくりを行っている。

白基調の外壁は、周囲への圧迫感を低減させるとともに、鹿児島の空の色を映しこみ、1日の時間とともにその表情を変化させている。窓下にあるライトブルーの施釉タイルは、光の反射によって、下から上に向かって色が変化し、周囲に広がる鹿児島の大空のグラデーションが想起される。また、バルコニーの開口部と窓をリズムカルに配置することで、バルコニーが積層する集合住宅然とした外観とならないように配慮している。

人々の賑わいが建物の内から外へと滲み出す仕掛けを意識しており、建物中央に広い共用廊下を設置し、廊下での物産販売などの交流の場を促す空間づくりをおこなった。住戸によっては、土間空間がそのままバルコニーへ連続しており、共用廊下、玄関土間、バルコニーが連続し、内部と外の景色を近くに感じさせる。

活動者
の声

そこで暮らす人々が、「場所」「住まい」「街」を一層好きになる空間をつくりだすことで、景観の美しさととどまらない人々の活き活きとした笑顔溢れる景観をつくりだしていきたい。

第3回 あなたが選ぶかごしま景観大賞 投票対象

一度に4～5本の火振りが行われる

No. 7

北山集落の盆の送り火 「北山の火振り」

活動者：北山自治会
北山の火振り保存会
活動期間：100年以上前～
所在地：日置市



100年以上続く、伝統行事の継承

「北山の火振り」は、先祖や無縁仏の供養や無病息災を祈り、日置市東市来町北山集落でお盆の送り火として行われる**伝統行事**である。

8月15日には、保存会メンバーが早朝6時頃から、竹切りや竹竿の準備、慰霊堂等の清掃を行い、夕方から火振りが開始される。

竹の長さは7～8mにもなるため、1本を4人程で支え、火の粉をかぶりながら、約1時間ほど火降り続けられる。火振りは、**地元住民のみならず、他の地域から見学者も訪れるお盆の風物詩**となっている。

また、毎月1回は当番制で納骨堂の清掃や草払いを行うほか、8月には会全体での美化清掃を行い、**地域全体で景観の保全活動**に努めている。

活動者の声

集落の過疎化が進み、人手不足から、火振りの準備に時間がかかる等、苦勞もあるが、**地域の伝統行事として、これからも継続**していきたい。

朝6時から、
総出で準備作業



No. 8

永野鉄道記念館 の桜並木

活動者：永野区公民館
活動期間：平成14年～
所在地：さつま町

夜はライトアップ

蒸気機関車と桜並木を被写体に



蒸気機関車と桜並木の
コラボレーション

永野区の出郷者で構成される関東永野会から、桜の苗木が送られたのが活動の始まり。

現在は廃線となった、旧国鉄宮之城線の跡地に、**永野公民館の有志が2年をかけて70本の桜の木が植樹した。**

桜の開花時期に合わせて、**ライトアップ**を行っており、桜の季節には、昼夜問わず花見客が訪れる。

薩摩永野駅がスイッチバック式であったことから、現在も**シーサスクロスポイントの分岐と蒸気機関車**が保存されており、特に桜の季節は、町内外の鉄道愛好家や写真愛好家が訪れる**フォトスポット**として親しまれている。

また、永野区公民館では、菜の花や彼岸花の植栽を行うほか、落葉期の側溝の清掃や桜の木の切り落としなど、**1年を通し、景観保全作業**を行っている。

活動者の声

桜の木にてんぐ巣病が発生した際の、桜の枝の切り落とし等、活動者の年齢が上がっている中、**大変な作業もあるが、遠方から訪れてくれる方もいるので、無理なく続けていきたい。**

ライトアップ用の電球を取り付け

No. 9

登山道のある岬 ・羽島崎

活動者：山根 史朗氏
活動期間：令和3年～
所在地：いちき串木野市

時間が合えば、展望台から
甌島フェリーが望める



登山道の整備で、羽島崎に活力を！

羽島崎の出身である**山根氏**は、**羽島崎の活力を復活させたい**との思いから、羽島崎神社から山頂につながると**参道をトレッキングコースとして整備**することを発案した。

登山仲間等を協力しながら、基本的には個人として、**1年以上をかけて草払いや、石の除去等**を行いながら**整備**を行った。

参道には展望台も整備され、**往復2時間ほどのコース**であることから、登山初心者にも取り組みやすい登山道となっている。

山根氏の活動に賛同した、地元住民で構成される「**れいめい羽島協議会**」の資金協力により、令和5年7月には、**登山道の案内板**が設置された。

活動者の声

地元の発展に協力したいとの思いから実施した。これを機に、**たくさんの人に羽島崎を訪れてもらえるとうれしい。**

ほとんどの作業を
個人で実施



登山道案内板除幕式



No.10

田んぼのヒガンバナ

活動者：上田 篤氏
活動期間：平成20年～
所在地：伊佐市

亡き妻に届け 思い出のヒガンバナ

一緒に稲刈りをしていた時、生前の妻が、田んぼの畦に咲く彼岸花を見て「きれいね」と話していた。上田さんは、妻が亡くなってから、その悲しみを埋めるように、田んぼの側の土手に妻が大好きだった彼岸花の植樹を始めた。彼岸花の咲く範囲は、上下2段、長さ約500mにも及ぶ。植樹を始めて2～3年たった頃、彼岸花を見に来る人が増え始め、今では、景観スポットとなり、見頃となる秋の約1週間、訪れる多くの人を楽しませている。訪れる方が増えたことから、地域の環境組合が、案内板の設置等に協力してくれるようになった。上田さんは、今年で92歳。体力の衰えを感じながらも、ほぼ毎日、除草作業を継続している。



満開の彼岸花は丘巻
多くの方が訪れるスポットに

今年で92歳の上田さん
除草作業を継続している

活動者の声

彼岸花の管理は、雑草とのたたかい。どこまで継続できるかわからないが、訪れる人のため、できる限り継続していきたい。



No.11

黒川どんげえ

活動者：伊作GOわっぜえ会
活動期間：令和3年～
所在地：日置市

作業は地元有志の
協力で行われた

「黒川どんげえ」を地域の拠り所に

伊作地域には、戦国時代から続く「黒川家」の武家屋敷があるが、空き家となり数年が経ち、草木に覆われ、屋敷の有無もわからない状態となっていた。この屋敷を、日置市の「お試し住宅」として活用してはどうかという話が持ち上がり、地域の有志で「伊作GOわっぜえ会」を結成し、屋敷周辺の竹や雑草を払い、駐車場等を整備した。地域の子供たちにも、歴史や活動を知ってほしいと、門の塗装作業に参加してもらった。令和3年度から、「お試し住宅」として活用されている。また、広い敷地を利用して「黒川どんげえ祭」を開催する等、地域住民が集まる場所となっている。

活動者の声

まだ整備されてない敷地があるので、整備を進め、「お試し住宅」としてだけでなく、地元住民の拠り所となる場所となるよう、管理を継続していきたい。



黒川幸吉（戊辰戦争の出陣時の写真）

築200年以上の「黒川どんげえ」



門の塗装は子供たちも参加

No.12

川平の巨石群

活動者：川平農村公園管理組合
活動期間：昭和57年～
所在地：出水市

園内には
多くの巨石

11万年以上前に噴出した
ものが、長い年月で球形に

思い出の公園を地域協力で管理

川平農村公園には、高さ4m、周囲30mほどの巨石が点在している。丘の上には展望台が設置されており、周囲の山々を見渡せるスポットとなっている。川平農村公園は、地域住民が子供の頃から、祭りなどの行事で訪れる思い出の地ともなっており、昭和57年から、地元住民で構成される「川平農村管理組合」が草刈りやトイレ清掃などの管理を行ってきた。公園は、会談や坂道を上った場所にあるため、高齢者が訪れやすいよう、手すりの取り付けを検討するなど、より多くの方に訪れてもらえる公園づくりを目指している。

活動者の声

住民の高齢化が進む中、管理作業が大変な部分もあるが、多くの人に訪れてもらう公園を目指し、活動を継続したい。



月に1度、草刈りやトイレ掃除を実施

